

認定特定非営利活動法人 地域福祉を考える会
Society of Study for Community Welfare (略称 SSCW)

発行：認定NPO法人 地域福祉を考える会
発行人：理事長 端山 清
事務局：〒259-1142
伊勢原市田中256番地の1-301
TEL:0463-95-6665 FAX:0463-20-9320
メール office@tiikifukusi.com
ホームページ http://tiikifukusi.com/



ニュースレター

◆ 寄稿「地域を支えるハンモック」



伊勢原まごころクリニックの小綿一平と申します。東北支援を続けながら日頃は精神科・心療内科の診療に勤しんでおります。

私は東日本大震災後福島県相馬市のメンタルクリニックで毎月外来診療をおこなっていますが、新型コロナウイルス蔓延以降はオンライン診療を余儀なくされています。

患者様のおおよそ半数は何らかの形で震災の影響を受けています。「缺状格差」と言いますが、立ち直っていく方々がいる一方で、未だに帰還できずあいまいな状況の中で復興から取り残される方々がおられ、格差が広がっています。震災十年目を迎えますが、東日本大震災を経験した同時代人として必要とされる限り支援を続けて参ります。

現在猛威を振るう新型コロナにつきましても、あいまいでストレスフルな状況下で各種情報が乱れ飛んでいます。飛沫核感染の可能性が示唆されています。その場合ウイルスが長時間空中を漂うことで感染につながるリスクが高まりますので、手指消毒やマスク着用のみならず換気やフィルターの導入など、より高度な対応が必要となります。このため皆様方も日々の生活に、そして会の活動に様々なご苦勞をなさっておられることと推察致します。

ところで、私は以前低自死率地域について調べたことがありました。少々意外でしたが、低自死率地域には、適度に他地域との交流があり、複数のゆるい絆でつながっている地域が多いのです。一本の太い綱も大切ですが、代わりにいわばハンモックのように何本もの紐でふわりと個人を支える体制が機能していることが重要と言うことだと思います。伊勢原地域は東海道の脇街道としての矢倉沢往還(大山街道)と名峰・大山を擁し、豊かな田園を背景に周辺地域との交流を重ねており、低自死率地域としての要件を満たしているかと存じます。「地域福祉を考える会」は児童、青少年、子育て世代、高齢者、障がい者等の皆さんに対して幅広く活動を継続しており、この地域の貴重なハンモック役を果たしています。最後になりましたが、会を支えておられる皆様方のご多幸と安寧を願っております。



小綿 一平
伊勢原まごころクリニック院長
国際NPO法人 世界の医療団医師

こども支援事業 ～みなさまの善意とご支援に支えられ～ (こども食堂・学習サポートみらい・つなぐ)



いせはら・みらいクルインこども食堂

こども食堂は10月に再開されましたが、緊急事態宣言が再度行われたことに伴い、2月まで休止することにいたしました。本当に残念です。3月25日に開催できることを願っています。お互いに新型コロナウイルスに負けないよう細心の注意を図りながら生活をいたしましょう。

3月の予定

3月25日(木)

時間:午後5時半～7時半

場所:だいろくコミュニティー広場

来るいん(7F/A7H1階 奥)



◆12/17クリスマス 献立◆

コーンライス、ホワイトシチュー、エビフライ・とりのから揚げ・野菜サラダ、白菜つけ、リンゴ・みかん・お菓子のおみやげ
一足早いクリスマスを祝いました。

コロナウイルス感染拡大防止のため、申し込み制にいたします。

1回 5:30～6:00→15名

2回 6:10～6:40→15名

3回 6:50～7:20→15名

参加する方は必ず申し込みしてください。

☎ 0463-95-6665

//氏名、住所、電話をお願い//



・ ・ お役に立てさせてください ・ ・

子ども支援へ食材や物品の提供をいただき感謝申し上げます。このコロナ禍、大変困っている家庭などが増えております。賞味期限が近くなって破棄されてしまう食料品(缶詰・調味料・お米・お菓子など)、勿体ない精神でご協力よろしくをお願いいたします。

★子ども食堂 天(sora)キッチン★

日時:・3月14日(日)午前11時～

場所:・創作料理「天 sora」

臨時市営駐車場前

定員:12名(小3年～高校生まで)

申込制: 電話95-6665

こども支援へ食材・物品

ありがとうございました

◆ 11月～1月のご提供者様(敬称略) ◆

テーエスガス(株)・まごころクリニック(伊勢原)、ユーコープ(飯山)、社福伊勢原市手をつなぐ育成会・笹原勉・安藤雅代・大久保里子(板戸)、飯塚秀一(善波)、木内めぐみ(沼目)、片野施設園芸(笠窪)、(株)三光工業(鈴川)、稲垣圭介・米倉力(高森)、前田國光(上粕屋)、亀井素代(下落合)、下川原(上平間)、大杉あや子(桜台) 匿名(5件)

子育てひろば「きらきら」



小さなお子さんをお持ちの方、これからママになる方、お気軽にお立ち寄りください

◆活動場所：シティプラザ1階
ふれあいホール

◆時間：午前10時～12時

◆参加費：一組100円 予約は不要



◆開催日（2月～3月）◆

	火	火	火	火
2月	2 🖐️	9 ○	16 ☆	
3月	2 🖐️	9 ○	16 ☆	23

・出入り自由です。どなたでも参加できます。

🖐️ 月初めの日は手形づくりの日 ○ ヨガ体操 ☆ お話

コロナ禍で、疲労と孤立感を強めているママたち「ここに来ると子どもも遊べるし、私もお話ができてリラックスができる」とのお声がありサポーターもできるだけの支援をしていきたいと思ひます。

★日頃の体温や体調を確認して参加してください。

※会場は3密にならないように注意し、参加者の少しでもお役に立てるよう努めています。



12月：クリスマス作品づくり
参加したママたちが作りました

11月：ヨガ体操
ママたち頑張っています



上手な子どものしつけ

5つのポイント その3ご紹介

「やらなかったことを叱る」のではなく「できたことを褒める」

しつけをする際にやりがちなのが、「やらなかったことを叱る」ということです。しかし、叱るとそのときは従うもののイヤイヤやることになってしまうでしょう。その結果、「バレなければいいや」という気持ちが芽生えやすくなりますので、次につながりにくくなってしまいます。

また、褒めるとお子さまはそのことを好きになり、自主的に動くようになるかもしれません。褒めるときのポイントは「えらいね」や「すごいね」だけではなく、「おかげでママ助かったわ」や「きれいにお片づけできて気持ちがいいわね」などの言葉で伝えることも大切です。お子さまの行動の結果、どんないいことが起きたのか、ということも一緒に伝えると、よりお子さまのやる気につながりやすいでしょう。（ベネッセ教育情報サイト抜粋）

次号に続く

児童コミュニティクラブだより

新年おめでとうございます。昨年は新型コロナウイルス感染症対策に追われる一年でした。保護者の皆様、学校の先生方、地域の皆様、ボランティアの皆様のご協力により無事に終える事が出来、新しい年を迎えることができました。感謝申し上げます。

本年もどうぞよろしくお願いいたします。

今年は「丑年」。先を急がず一步一步着実に物事を進めることが大切な年と言われています。結果につながる道をコツコツと作っていく基礎を積み上げていく時期と考えて子ども達には背伸びせず未来に向けての糧となるような様々な経験体験を重ねられるように感染症対策に気を配りながら安全に配慮し安心してすごせるよう支援員、職員共々見守りたいと思います。

4児コミ代表 安武 敬子

冬休み中の児童コミュニティクラブの様子です。
クリスマス会、初詣（伊勢原大神宮へ伊勢原第2）、かるた会、初釜など季節の行事を楽しみました。



皆で乾杯!!
DVD鑑賞、サンタ帽子がいっぱいですね。

感染症対策をしてクリスマス会を楽しみました。



ソーシャルディスタンスしての伝言ゲーム



サンタさんの大きな荷物、重かったでしょ！



趣向を凝らしたクリスマスリースです！子ども達も頑張って作りました。



サンタさん(伊野先生)、プレゼントありがとうございました。



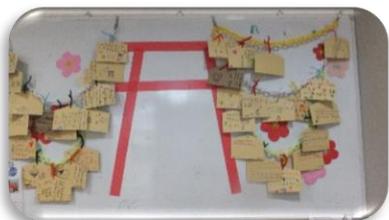


おみくじは
大吉かな？

初詣に行きました。



児コミ神社にお参りです。



絵馬に願い事書きました。
皆の願い事叶いますように!!



初釜に、かるた会、鏡開き。お正月らしい催しを体験しました。



お抹茶頂きます。

密にならないように
気を付けて。



皆で食べるお汁粉
美味しいよ。



産業能率大学大学生達(三浦ゼミ)が考えて
下さったパズルゲームに挑戦です。
学生の皆様ご協力ありがとうございました。



児コミの仲間と仲良く遊びます。



◆これからの児コミの行事◆

*バレンタインデー *ひな祭り

*入所説明会 4 児童コミュニティ同日 3月26日(金) 18時30分より



成年後見部会



コロナウイルス騒動の中での成年後見活動について（その2）

昨年夏にも上記のテーマでニュースレターの原稿を書きました。それから半年近く経ちますが神奈川県内の感染状況は当時よりもかなり悪化しています。

当然のことながら身上保護を重視している当法人の成年後見活動にも引き続き影響が出ています。昨年状況とは異なり感染者が確認されている福祉施設も出ており、後見人が感染してさらに感染を拡大してしまう事も心配されるため、訪問を控えて電話や職員への聞き取りで済ませているケースもあります。

成年後見部会としては昨年11月に外部講師を呼んでリモート会議の研修会を実施、12月には市民活動サポートセンター主催の研修会にも参加して感染拡大に備えていましたが、個人のWEB環境、PC環境などもあり現実的にリモート会議を実施するには至っておらず、世の中の動きについていけない反省点もあります。遅ればせながら2月の定例会議はリモートで実施する予定です。

幸いな事に被後見人や後見担当者には今の所コロナウイルス感染者はおりませんが、今後も今まで通りマスクの着用や手指の消毒など感染対策に万全を期して後見活動を実施していきます。

また家庭裁判所の審判にも多少遅れの影響が出ているようです。昨年から成年後見人付与の審判申立を実施し、現在家裁の決定待ちのケースが2名おります。従前ならばすでに審判が下りていてもおかしくないタイミングですが、コロナ禍の社会情勢の影響が出ていると思われます。

その他の報告ですが、昨年11月に「NPO法人成年後見センターかけはし」の「地域連携シンポジウム」に参加しました。社会福祉法人の代表者や保護者の立場の方など4名と並びパネリストの一人として当法人の取り組みを話しました。日本の社会問題として「8050問題」が取りざたされていますが、その中で社会の中で孤立しない仕組み、親から地域の支援にどのようにつなげていくかなど多くの課題が出ました。その中で成年後見制度が果たしていく役割の大切さは益々増すばかりですが、職業後見人と市民後見人の在り方の違いや後見人個人の力量など課題もあり、引き続き学びを深めていく事が必要と痛感しました。

成年後見部会長 勝田 俊一

◆成年後見についての 無料相談を行っています◆

ご希望の方はお気軽にお電話ください。

- 電話：0463-20-9170
- 時間：9:30~16:30
- Eメール：office@tiikifukusi.com
担当：吉田・高橋（成年後見担当）

◆後見部会からのお誘い◆

私たちと一緒に法人後見人として活動しませんか。ご希望の方はご連絡をお待ちしています。

- 電話：0463-20-9170(代表勝田)
- FAX：0463-20-9137

けんこう👉つなぐ👉うたごえ

・・・笑顔でしあわせに・・・



ゆかいな音楽家 古川 恵子

今年で発足4年目になります。懐かしいうたをみんなで楽しくうたう事そして心も身体も元気になる事、たくさん笑って笑顔になる事を願い続けてきました。誤嚥防止のための「パ・タ・カ・ラ」を異なる動作を加えて、替え歌にして毎回歌っています。この会の常連 A 氏のお話ですが数年前、脳梗塞の病気になり、その時の治療のためのリハビリの一つがこの「パ・タ・カ・ラ」だったそうです。言葉だけの連続の訓練でしたので、逆にリハビリの先生に歌をつけた「パ・タ・カ・ラ」を教えたそうです。現在A氏はお元気になりこの会でもリーダーシップをとり、口笛や手話で活躍して下さっています。

また、この活動の中で1つ必ずやっている事は「笑うヨガ」です。笑いとお腹呼吸を組み合わせた健康体操です。笑いによって全身の毛細血管が発達するため、代謝がよくなること、快樂ホルモンとも呼ばれる脳内物質βエンドルフィンや脳をリラックスさせるセロトニンの分泌を促したりなど、不安や緊張を和らげる働きがあります。一人では笑えなくても大勢で笑うと不思議なことに伝染して笑うことができます。いつも会場が笑いで盛り上がります。

コロナ禍の中、開催においては会のスタッフの方々の細やか、温かい心配りにそして伴奏して下さるSさんにも私の無理難題にも快くあわせていただき感謝です。

この会(けんこう👉つなぐ👉うたごえ)は、参加して下さい一人一人が主役です。人との出会い、音楽、体操、笑い、健康、宝物がいっぱいです。これからも楽しい企画を考案していきたいです。永くこの会が続きますように！！



けんこう👉つなぐ👉うたごえ

●開催：2/21(日)、3/20(土)

※中止の場合あり

●場所：シティプラザ1階ふれあいホール

●指導：古川 恵子さん

●時間：10:30~12:00

●参加費：300円(お茶・飴の用意してあります)

★参加自由★



新型コロナウイルス感染予防の中、6月から三密(密閉、密集、密接)を十分配慮しながら開始。先生はフェイスガードとマスク、みなさんもマスクを着用しながら楽しみました。残念なことに1月7日~2月7日まで緊急事態宣言発令され急遽1月はお休みになりました。



こども支援事業

～みなさまの善意とご支援に支えられ～

学習サポートみらい・つなぐ

新年早々、緊急事態宣言が行われ、学習サポートの場所を早急に移動することになりました。中学3年生は受験も控えておりますので、3年生を中心に社協の会議室他を借りて学習しております。



12月22日(火)

ふれあいクリスマス会🎅

コロナ禍、市民活動サポートセンターに於いてできるだけ密にならないようそして大声を出さないよう、制約の中ではありましたが石川サポーターの工作や学生サポーターの工夫で部首ビンゴなど楽しい趣向で2時間を過ごしました。



新型コロナウイルス感染防止で外出を控えている高齢者・障がい者のみなさまへ

友愛電話サービス週1回
おしゃべりしませんか。

申込み (社福) 伊勢原市社会福祉協議会
0463-94-9600

「友愛電話申込み」とお伝えください

こちらから電話をおかけします。
料金はかかりません。



電話日 月曜日 午前 (10:00～12:00)
月曜日 午後 (13:00～15:00)
木曜日 午後 (13:30～15:30)

ご寄附者名簿 (敬称略)

R2年11月1日～R3年1月25日

天sora 12,445円	匿名 10,000円	大佐古由利子 10,000円
三瓶ミネ子 5,000円	匿名 20,000円	伊勢原まごころクリニック 10,000円
端山清 5,000円	小永井禮子 10,000円	梶田紀子 10,000円
N・N 10,000円	匿名 51,000円	匿名(5件) 8,000円

合計 161,445円 令和2年度累計 1,218,113円

ありがとうございます

◆ 寄付金申し込み ◇銀行振込・ゆうちょ銀行◇

横浜銀行 伊勢原支店 普通預金

口座番号：6116229

口座名義：特定非営利活動法人地域福祉を考える会

■振込手数料がかかります。

ゆうちょ銀行 (赤い払込取扱票をご利用下さい)

口座番号：00240-6-105549

口座名義：特定非営利活動法人地域福祉を考える会

■払込手数料はかかりません。

◆ 寄付者情報の公開について

寄せられたご寄付は、感謝の意を表し、ご氏名および金額をニュースレター、ホームページにて公開させていただきます。公表を希望されない方は匿名とさせていただきます。